

三重県経済の現状と見通し<2026年5月>

1. 景気判断一覧表

部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
				詳細
総括判断	景気の現状			<p><b>持ち直しの動きがみられる</b></p> <p>企業活動などを中心に、持ち直しの動きがみられる。</p>
家計部門	個人消費			<p><b>足踏み</b></p> <p>勤労者世帯・消費支出は、3か月連続の前年比減少</p>
	住宅投資			<p><b>減少傾向にある</b></p> <p>住宅着工戸数は、3か月連続の前年比減少</p>
	観光			<p><b>回復している</b></p> <p>外国人宿泊者数は、2か月ぶりの前年比増加</p>
	雇用・所得			<p><b>持ち直し傾向が一服</b></p> <p>有効求人倍率(季節調整値)は、3か月ぶりの上昇</p>
企業部門	企業活動			<p><b>回復している</b></p> <p>鉱工業生産指数は、7か月連続の前年比上昇</p>
	企業倒産			<p><b>悪化しつつある</b></p> <p>倒産件数は、7か月ぶりの前年比増加</p>
	設備投資			<p><b>持ち直しの兆し</b></p> <p>民間非居住建築物着工面積は、2か月連続の前年比増加</p>
海外部門	輸出			<p><b>持ち直しの兆し</b></p> <p>四日市港通関輸出額は、3か月連続の前年比増加</p>
公共部門	公共投資			<p><b>持ち直しつつある</b></p> <p>公共工事請負金額は、5か月連続の前年比増加</p>
その他	物価			<p><b>伸びが鈍化している</b></p> <p>津市消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、51か月連続の前年比上昇</p>

**当面の見通し** **物価高や世界経済の不透明感から、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し**

個人消費の回復が期待される一方、イラン危機を背景としたエネルギー価格の高騰など世界経済を巡る不透明感は強く、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し。

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

☀:晴、☀|☁:晴～曇、☁:曇、☁|☂:曇～雨、☂:雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

↗:上方修正、⇒:据え置き、↘:下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 古橋
	電話:059-354-7102 Mail:33ir@33bank.co.jp

2. 個別部門の動向: 家計部門

個人消費	水準評価		☀️☁️	詳細	足踏み
	基調判断	前月比較			

《現状》

- 個人消費は、足踏み。
- 個人消費の動向を支出者側からみると、3月の勤労者世帯消費支出(津市)は前年比▲8.5%と3か月連続の減少(図表1)。勤労者世帯可処分所得(津市)は同▲1.0%と5か月ぶりの減少。
- 個人消費の動向を販売者側からみると、3月の大型小売店販売額(百貨店とスーパーの合計額)は、全店ベースが前年比+1.5%と13か月連続で増加した一方、既存店ベースは同▲0.3%と2か月連続の減少(図表2)。全店ベースを商品別にみると、飲食料品(同+0.8%)が17か月連続で増加し、全体を押し上げ。
- 4月の新車乗用車販売台数(含む軽)は、6,468台(前年比+15.4%)となり、前年比で4か月ぶりの増加(図表3)。車種別にみると、軽乗用車(同▲6.5%)は2か月ぶりに減少した一方、普通車(同+25.4%)は7か月ぶり、小型車(同+39.8%)は5か月連続で増加し、全体を押し上げ。

《見通し》

- 東海地域の現状判断DI(内閣府「景気ウォッチャー調査」)をみると、4月の家計部門の水準は38.0と好不況の分かれ目となる50を4か月連続で下回った。2~3か月先の先行きに対する判断DIについては、39.6と前月(41.0)から低下し、好不況の分かれ目の50を2か月連続で下回った。所得環境の改善や株高による資産効果を受け、個人消費は回復する見通しであるものの、中東情勢を巡る不透明感や物価上昇への懸念が消費意欲を下押しする可能性には注意が必要。

◆3月 勤労者世帯・消費支出

○ 410千円 前年比 ▲8.5% (3か月連続の減少)

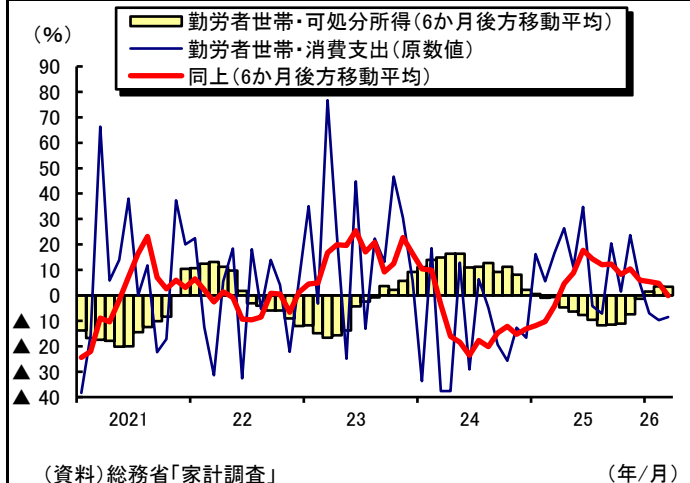
◆3月 大型小売店販売額

○ 全店 前年比 +1.5% (13か月連続の増加)  
○ 既存店 前年比 ▲0.3% (2か月連続の減少)

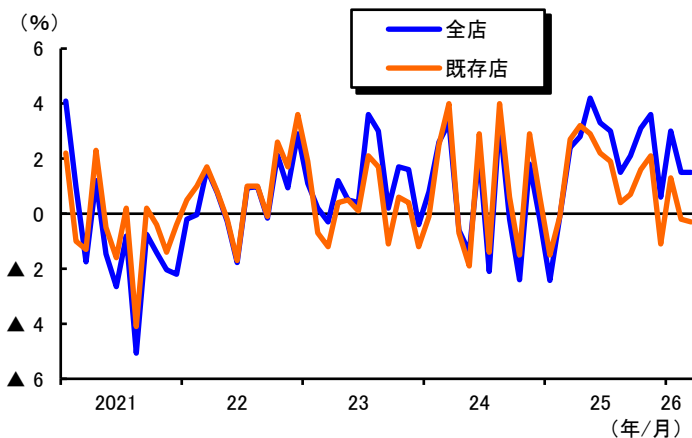
◆4月 新車乗用車販売台数<含む軽>

○ 6,468台 前年比 +15.4% (4か月ぶりの増加)  
・普通車 前年比 +25.4% (7か月ぶりの増加)  
・小型車 前年比 +39.8% (5か月連続の増加)  
・軽乗用車 前年比 ▲6.5% (2か月ぶりの減少)

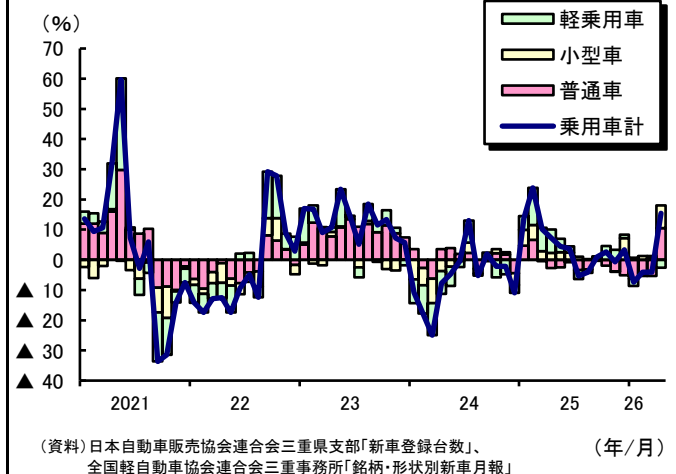
図表1 津市消費支出等<前年比>



図表2 大型小売店販売額<前年比>



図表3 新車乗用車販売台数<前年比>



<b>住宅投資</b>	<b>水準評価</b>		☁️🌂		
	基調判断	前月比較	➡	詳細	減少傾向にある

**《現状》**  
 ○住宅投資は、減少傾向にある。  
 ○3月の住宅着工戸数は、565戸(前年比▲36.4%)となり、3か月連続の減少(図表4)。利用関係別に見ると、持家(同▲36.8%)が3か月連続、貸家(同▲36.4%)が2か月ぶり、給与住宅(同▲75.0%)で2か月連続、分譲住宅(同▲31.6%)が2か月ぶりに減少し、全体を押し下げ。

**《見通し》**  
 ○先行きは原油高・ナフサ等の原材料の供給不足に伴う資材価格の上昇等を受けた住宅価格の上昇や資材の調達難、住宅ローン金利の上昇懸念を背景に、住宅投資は弱い動きとなる見通し。

**◆3月 住宅着工戸数**

○ 565戸	前年比 ▲36.4%	(3か月連続の減少)
・持家	318戸	前年比 ▲36.8% (3か月連続の減少)
・貸家	178戸	前年比 ▲36.4% (2か月ぶりの減少)
・給与住宅	2戸	前年比 ▲75.0% (2か月連続の減少)
・分譲住宅	67戸	前年比 ▲31.6% (2か月ぶりの減少)

**図表4 新設住宅着工戸数<前年比>**

(資料)国土交通省「建築着工統計」 (年/月)

<b>観光</b>	<b>水準評価</b>		☀️☁️		
	基調判断	前月比較	➡	詳細	回復している

**《現状》**  
 ○観光は、回復している。  
 ○2月の三重県内施設延べ宿泊者数は、597千人泊(前年比+0.4%)となり、3か月ぶりの増加(図表5)。外国人宿泊者数は26千人泊(同+61.3%)と、2か月ぶりの増加。

**《見通し》**  
 ○三重県の観光誘客推進本部は、三重県観光振興基本計画に基づき令和8年のアクションプランを公表。アクションプランでは、首都圏や関西圏等からの誘客促進を目指した情報発信や、第63回式年遷宮に向けたお木曳行事を生かしたプロモーション等を実施。日本人延べ宿泊者数を9,956千人とさせる目標を設定。

**◆2月 県内施設延べ宿泊者数**

○ 597千人泊	前年比 +0.4%	(3か月ぶりの増加)
・外国人	26千人泊	前年比 +61.3% (2か月ぶりの増加)

**図表5 三重県内施設延べ宿泊者数**

(資料)国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」 (年/月)

雇用・所得	水準評価		⇒	詳細	持ち直し傾向が一服
	基調判断	前月比較			

《現状》

- 雇用・所得情勢は、持ち直し傾向が一服。
- 3月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.16倍(前月差+0.02ポイント)と3か月ぶりの上昇。新規求人倍率(季節調整値)は、2.06倍(同+0.17ポイント)と2か月連続の上昇(図表6)。
- 3月の新規求人数は、学卒・パートを除くベースで前年比+6.9%と2か月連続の増加(図表7)。業種別にみると、製造業(同+16.3%)では、金属製品(同▲20.8%)やプラスチック製品(同▲25.0%)が減少した一方、輸送用機械(同+127.3%)、電気機械(同+51.7%)などが増加。非製造業では、生活関連サービス業、娯楽業(同▲59.3%)が減少した一方、医療、福祉(同+11.6%)や、建設業(同+15.9%)等が増加。
- 2月の所定外労働時間指数は、前年比+5.6%と3か月連続の上昇。名目賃金指数(同+5.5%)は3か月連続で、きまって支給する給与(同+5.4%)は32か月連続で上昇(図表8)。

《見通し》

- 所得については、賃上げノルムの広がりや最低賃金の上昇、人手不足感の深刻化を受けて今後も幅広い業種で賃金上昇が期待される。

◆3月 求人倍率<季節調整値>

- 有効求人倍率 1.16倍  
前月差 +0.02ポイント (3か月ぶりの上昇)
- 新規求人倍率 2.06倍  
前月差 +0.17ポイント (2か月連続の上昇)

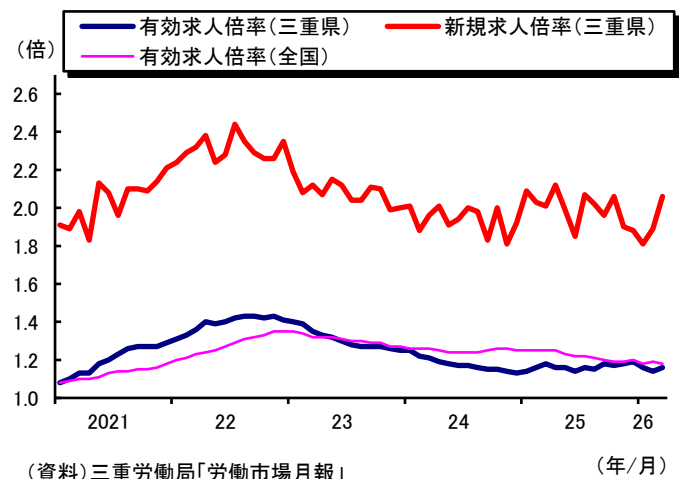
◆3月 新規求人数<学卒・パートタイム除く>

- 前年比 +6.9% (2か月連続の増加)

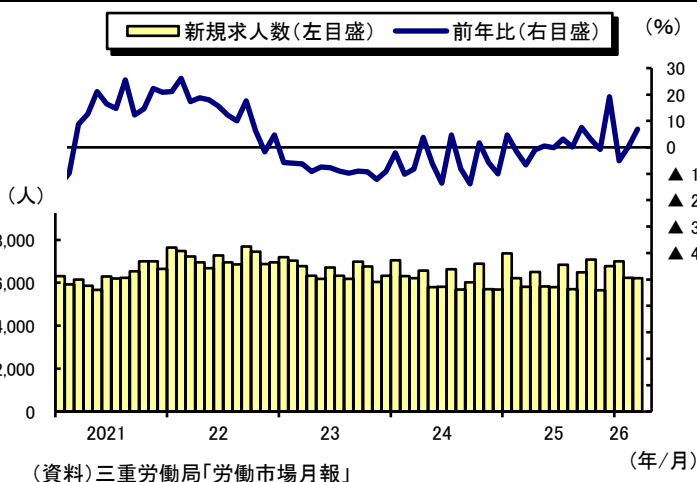
◆2月 労働時間・賃金指数<調査産業計>

- 所定外労働時間指数  
前年比 +5.6% (3か月連続の上昇)
- 名目賃金指数  
前年比 +5.5% (3か月連続の上昇)
- ・きまって支給する給与  
前年比 +5.4% (32か月連続の上昇)

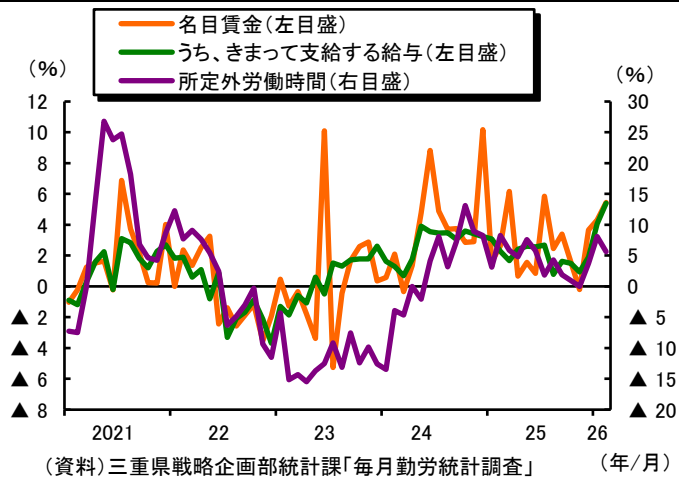
図表6 有効・新規求人倍率<季節調整値>



図表7 新規求人数<学卒・パート除く>



図表8 労働時間・賃金指数 <調査産業計、前年比>



### 3. 個別部門の動向: 企業部門

企業活動	水準評価		⇒	詳細	回復している
	基調判断	前月比較			
<p>☀️ ☁️</p> <p><b>《現状》</b>                      ○企業の生産活動は、回復している。                      ○3月の鉱工業生産指数は、前年比+22.7%と7か月連続の上昇(図表9)。業種別にみると、中東情勢悪化の影響を受け、化学工業(同▲45.9%)が低下した一方、電子部品・デバイス工業(同+103.6%)、輸送機械工業(同+12.3%)などが上昇。</p> <p><b>《見通し》</b>                      ○2025年12月に公表された世界半導体市場統計によれば、大手IT企業によるデータセンター向け投資は堅調であり、半導体市場は過去最高を更新する見込みであることから需要が旺盛な半導体を中心に先行き生産は、持ち直しの傾向となる見通し。                      ○カネソウ(朝日町)は朝日町の工場内に新たな工場を建設し、マンホール蓋などの建築分野に使う「铸铁器材」の生産体制を強化する。2026年中に本格稼働し、月間生産能力を2割増の約360トンに引き上げる。</p>					
<p><b>◆3月 鉱工業生産指数&lt;2020年=100&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 133.7 前年比 +22.7% (7か月連続の上昇)</li> <li>・汎用・生産用・業務用機械工業 前年比 +8.8% (4か月連続の上昇)</li> <li>・電子部品・デバイス工業 前年比 +103.6% (5か月連続の上昇)</li> <li>・輸送機械工業 前年比 +12.3% (4か月連続の上昇)</li> <li>・化学工業 前年比 ▲45.9% (2か月連続の低下)</li> </ul>			<p><b>図表9 鉱工業生産指数&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)三重県戦略企画部統計課「鉱工業生産指数」 (年/月)</p>		

企業倒産	水準評価		⇒	詳細	悪化しつつある
	基調判断	前月比較			
<p>☁️</p> <p><b>《現状》</b>                      ○企業倒産は、悪化しつつある。                      ○4月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、件数は9件(前年比+2件)と7か月ぶりの増加。負債総額は525百万円(前年差+141百万円)と2か月連続の増加(図表10)。</p> <p><b>《見通し》</b>                      ○中小企業の経営環境は、人件費の上昇や、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の高騰、金利の上昇等を受け、厳しさを増しており、企業倒産は増勢基調をたどる懸念も。</p>					
<p><b>◆4月 企業倒産</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 倒産件数 9件 前年比 +2件 (7か月ぶりの増加)</li> <li>○ 負債総額 525百万円 前年比 +141百万円 (2か月連続の増加)</li> </ul>			<p><b>図表10 倒産件数・負債総額&lt;負債総額1,000万円以上&gt;</b></p> <p>(資料)㈱東京商工リサーチ津支店 (年/月)</p>		

設備投資	水準評価		⇒	詳細	持ち直しの兆し
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶</p> <p>○企業の設備投資は、持ち直しの兆し。</p> <p>○3月の民間非居住建築物着工床面積は、27千㎡(前年比+6.1%)と2か月連続の増加。4月の貨物車登録台数(除く軽)は、416台(同+39.6%)と2か月ぶりの増加(図表11)。</p> <p>◀見通し▶</p> <p>○台湾半導体大手の聯華電子の子会社のユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン(横浜市)は、自動車やスマートフォン向けの半導体の生産能力を高めるため、三重工場(三重県桑名市)に約57億円を投じて設備投資を進めると発表。2027年1月より操業開始予定。</p>					
<p>◆3月 民間非居住建築物着工床面積</p> <p>○ 27千㎡ 前年比 +6.1% (2か月連続の増加)</p> <p>◆4月 貨物車登録台数</p> <p>○ 416台 前年比 +39.6% (2か月ぶりの増加)</p>			<p>図表11 設備投資関連指標&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)国土交通省「建築着工統計」、日本自動車販売協会連合会三重県支部「新車登録台数」</p>		

4. 個別部門の動向:海外部門

輸出	水準評価		⇒	詳細	持ち直しの兆し
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶</p> <p>○輸出は、持ち直しの兆し。</p> <p>○4月の四日市港通関輸出額は、974億円(前年比+17.3%)となり、3か月連続の増加(図表12)。品目別にみると、自動車の部分品(同▲22.6%)などが減少した一方、石油製品(同+175.7%)や乗用車(同+42.4%)などが増加。</p> <p>◀見通し▶</p> <p>○中東情勢の緊迫化に伴い、原油価格の高騰やナフサ等の石油製品の供給不足がアジアをはじめとした世界経済を押し下げた場合、先行き、輸出が下押しされる懸念も。</p>					
<p>◆4月 四日市港通関輸出額</p> <p>○ 974億円 前年比 +17.3% (3か月連続の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石油製品 181億円 前年比 +175.7% (4か月連続の増加)</li> <li>・有機化合物 39億円 前年比 ▲25.2% (2か月連続の減少)</li> <li>・電気回路等の機器 57億円 前年比 +2.4% (2か月連続の増加)</li> <li>・乗用車 157億円 前年比 +42.4% (3か月連続の増加)</li> <li>・自動車の部分品 61億円 前年比 ▲22.6% (9か月ぶりの減少)</li> <li>・科学光学機器 2億円 前年比 ▲64.0% (12か月連続の減少)</li> </ul>			<p>図表12 四日市港通関輸出額&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)名古屋税関四日市支署「管内貿易概況」 (年/月)</p>		

5. 個別部門の動向:公共部門

公共投資	水準評価		⇒	詳細	持ち直しつつある
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶                      ○公共投資は、持ち直しつつある。                      ○4月の公共工事請負状況をみると、請負件数は159件(前年比±0.0%)と横這い。請負金額は572億円(同+44.3%)と5か月連続の増加(図表13)。請負金額を発注者別にみると、県(同▲9.1%)、市町(同▲13.1%)が減少した一方、国(同+107.3%)、独立行政法人等(同+553.9%)が増加。</p> <p>◀見通し▶                      ○3月23日に三重県議会は8,929億円の2026年度一般会計予算を原案通り可決。前年度比+6.7%の大幅増でコロナ禍の2023年度8,371億円を大きく上回り過去最大となった。南海トラフ地震対策や川・砂防ダムの土砂撤去などが盛り込まれた。</p>					
<p>◆4月 公共投資</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共工事請負件数 159件 前年比 ±0.0% (横這い)</li> <li>○公共工事請負金額 572億円 前年比 +44.3% (5か月連続の増加)</li> </ul>			<p>図表13 公共工事請負金額</p> <p>(資料)東日本建設業保証㈱三重支店 (年/月)</p>		

6. 個別部門の動向:その他

物価	水準評価		↘	詳細	伸びが鈍化している
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶                      ○物価は、伸びが鈍化している。                      ○4月の津市消費者物価指数(生鮮食品を除く)は前年比+0.5%と51か月連続の上昇(図表14)。生鮮食品を除く食料(同+3.8%)や教養娯楽(同+1.1%)など、多くの項目で上昇率が縮小。</p> <p>◀見通し▶                      ○米などの食料品価格上昇の影響が減衰していくもとで消費者物価(生鮮食品を除く)は低下傾向で推移していく見通し。もともと、中東情勢の悪化を受け、原油価格が高騰するなど、今後の物価動向には注意が必要。</p>					
<p>◆4月 消費者物価指数&lt;生鮮食品を除く、2020年=100&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○110.7 前年比 +0.5% (51か月連続の上昇)</li> <li>・食料(生鮮食品を除く) 前年比 +3.8% (57か月連続の上昇)</li> <li>・住居 前年比 ▲1.7% (7か月連続の下落)</li> <li>・光熱・水道 前年比 ▲0.9% (5か月連続の下落)</li> <li>・交通・通信 前年比 +0.1% (2か月連続の上昇)</li> <li>・教養娯楽 前年比 +1.1% (40か月連続の上昇)</li> </ul>			<p>図表14 津市消費者物価指数&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)総務省「消費者物価指数」 (年/月)</p>		



### 1. 式年遷宮への民俗行事「お木曳」の幕開けとなる「御木曳初式」が開催

- 4月12日から2日間にわたって伊勢の街中を神宮にゆかりのある奉曳団(ほうえいだん)が代表的な御用材を曳く「御木曳初式(おきひきぞめしき)」が開催。
- 初日は神域を流れる五十鈴川をさかのぼる「川曳(かわびき)」があり、社殿の重要な用材を神宮の内宮まで運んだ。
- 2日目には用材を奉曳車に載せ、陸路で外宮(げくう)まで運ぶ「陸曳(おかびき)」が行われる。

### 2. 津駅周辺のバスタプロジェクト 国交省が整備方針の検討開始

- 4月20日、津市は津駅周辺に交通ターミナル(バスタ)を整備する「バスタプロジェクト」について、国土交通省が本年度から整備方針の策定に向けた検討を始めると明らかにした。
- 津市は2019年度に「津駅周辺空間の基本的な方向性」を公表するなど、津駅周辺の道路の活用方法を検討していた。
- 国交省はこれまでの調査を踏まえ、津駅周辺に交通拠点としての機能強化が必要と判断。今後、ターミナルの整備範囲や完成後の具体的なイメージなどを検討していく。

### 3. NIPPONIA HOTEL 伊賀上野城下町 新棟が開業

- 4月29日、伊賀市や民間事業者が進める分散型城下町ホテル事業「NIPPONIA HOTEL 伊賀上野城下町」の6棟目となる「NAIKI棟」が開業。
- 明治時代に果物問屋として創業し、現代まで老舗問屋の事務所兼作業場として利用されていた建造物を保存、修復したもの。
- 築110年以上の歴史を刻む「蔵」を活用した完全プライベート空間のサウナと愛犬と快適に過ごすことができる専用庭付き客室が特徴。

以上

# 景気指標

三十三総研  
2026/5/29

## <三重県>

(注) ( )内は前年(同期(月))比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2024年	2025年	2025年			2026年	2025年	2026年			
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	12月	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額(全店)	( 0.7)	( 2.3)	( 3.4)	( 2.2)	( 2.3)	( 2.0)	( 0.6)	( 3.0)	( 1.5)	( 1.5)	
同 (既存店)	( 1.1)	( 1.5)	( 2.8)	( 1.0)	( 0.8)	( 0.3)	(▲ 1.1)	( 1.3)	(▲ 0.2)	(▲ 0.3)	
新車販売台数(軽を除く、台)	54,634 (▲ 0.3)	53,830 (▲ 1.5)	11,842 (▲ 0.4)	12,917 (▲ 3.4)	13,096 ( 0.2)	14,350 (▲ 6.2)	3,948 ( 4.8)	4,300 (▲ 5.3)	4,791 (▲ 5.3)	5,259 (▲ 7.7)	4,903 ( 31.4)
うち乗用車販売台数(台)	48,294 (▲ 0.4)	47,663 (▲ 1.3)	10,655 ( 0.7)	11,421 (▲ 3.1)	11,491 (▲ 2.2)	12,750 (▲ 7.0)	3,429 ( 3.5)	3,833 (▲ 8.0)	4,279 (▲ 5.2)	4,638 (▲ 7.8)	4,389 ( 29.9)
新車軽自動車販売台数(台)	34,947 (▲ 12.0)	37,882 ( 8.4)	8,402 ( 9.9)	9,482 (▲ 1.7)	9,478 ( 6.4)	10,702 ( 1.7)	2,864 ( 4.9)	3,131 (▲ 1.5)	3,651 (▲ 0.6)	3,920 ( 6.8)	2,637 (▲ 6.4)
うち乗用車販売台数(台)	27,595 (▲ 11.1)	30,379 ( 10.1)	6,605 ( 12.9)	7,506 (▲ 1.9)	7,498 ( 8.4)	8,596 (▲ 2.0)	2,287 ( 2.9)	2,481 (▲ 6.4)	3,009 (▲ 2.4)	3,106 ( 2.2)	2,079 (▲ 6.5)
新設住宅着工戸数(戸)	7,751 (▲ 16.0)	7,342 (▲ 5.3)	1,594 (▲ 18.6)	1,727 (▲ 17.6)	1,839 ( 2.0)	1,620 (▲ 25.8)	576 ( 9.9)	490 (▲ 31.8)	565 (▲ 1.7)	565 (▲ 36.4)	
県内施設延べ宿泊者数(千人泊)	8,692 ( 21.1)	9,329 ( 7.3)	2,184 ( 6.0)	2,539 ( 8.0)	2,477 ( 9.0)		773 (▲ 3.1)	615 (▲ 9.6)	597 ( 0.4)		
有効求人倍率(季調済)	1.17	1.16	1.15	1.16	1.18	1.15	1.19	1.16	1.14	1.16	
新規求人倍率(季調済)	1.95	2.00	1.99	2.02	1.94	1.91	1.88	1.81	1.89	2.06	
新規求人数(学卒・パート除く、人)	74,467 (▲ 5.6)	76,049 ( 2.1)	18,133 (▲ 0.2)	19,011 ( 3.7)	19,511 ( 6.1)	19,437 ( 0.2)	6,776 ( 16.5)	6,997 (▲ 5.1)	6,229 ( 0.2)	6,211 ( 6.9)	
名目賃金指数(調査産業計)	( 4.5)	( 0.1)	( 1.0)	( 4.1)	( 2.2)		( 3.7)	( 4.3)	( 5.5)		
実質賃金指数(同)	( 1.3)	(▲ 0.2)	(▲ 2.2)	( 0.9)	(▲ 0.6)		( 1.4)	( 2.7)	( 4.1)		
所定外労働時間(同)	( 2.2)	( 3.9)	( 6.0)	( 2.6)	( 1.5)		( 3.8)	( 8.1)	( 5.6)		
常用雇用指数(同)	( 1.9)	( 0.1)	(▲ 0.2)	( 0.3)	( 0.3)		( 0.6)	(▲ 0.5)	(▲ 0.6)		
鉱工業生産指数	( 0.4)	( 3.0)	( 1.9)	(▲ 1.6)	( 4.9)	( 23.9)	( 4.3)	( 21.5)	( 27.7)	( 22.7)	
	-		< 8.1>	<▲ 4.8>	< 3.8>	< 16.1>	< 2.5>	< 13.8>	< 5.8>	<▲ 2.3>	
生産者製品在庫指数	(▲ 8.9)	( 5.5)	( 12.2)	( 7.0)	( 3.5)	( 1.6)	( 5.8)	( 4.1)	(▲ 0.7)	( 1.3)	
	-		< 13.2>	<▲ 0.7>	<▲ 5.0>	<▲ 4.8>	< 5.8>	<▲ 5.3>	<▲ 4.0>	< 1.3>	
企業倒産件数(件)	135	123	19	43	28	29	12	10	11	8	9
(前年同期(月)比)(件)	( 5)	(▲ 12)	(▲ 12)	( 5)	(▲ 8)	(▲ 4)	(▲ 3)	(▲ 1)	( 0)	(▲ 3)	( 2)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	574 ( 3.8)	698 ( 21.7)	228 ( 104.5)	305 ( 66.1)	72 (▲ 46.7)	108 ( 16.2)	21 ( 45.3)	25 (▲ 46.1)	56 ( 163.7)	27 ( 6.1)	
県内外国貿易 純輸出(百万円)	▲ 1,294,042	▲ 1,264,040	▲ 222,064	▲ 227,417	▲ 279,253	▲ 229,752	▲ 93,470	▲ 92,442	▲ 85,408	▲ 51,902	▲ 54,630
輸出(百万円)	1,133,799 ( 0.8)	1,153,636 ( 1.7)	270,934 (▲ 7.8)	269,425 (▲ 1.2)	297,963 (▲ 2.6)	305,255 ( 13.3)	98,545 (▲ 7.9)	95,544 ( 14.7)	99,932 ( 9.0)	109,779 ( 16.2)	122,820 ( 29.4)
四日市港 輸出(百万円)	1,091,240 ( 1.4)	1,111,102 ( 1.8)	247,223 (▲ 11.1)	245,955 (▲ 8.0)	286,433 (▲ 4.7)	260,937 ( 6.6)	98,545 (▲ 7.9)	83,272 ( 0.0)	88,182 ( 11.5)	89,483 ( 8.6)	97,437 ( 17.3)
輸入(百万円)	2,427,841 (▲ 0.9)	2,417,676 (▲ 0.4)	492,998 (▲ 23.9)	496,842 (▲ 23.8)	577,215 (▲ 6.9)	535,007 (▲ 14.3)	192,015 (▲ 20.0)	187,986 (▲ 13.8)	185,340 (▲ 12.9)	161,681 (▲ 16.2)	177,450 (▲ 17.7)
公共工事請負金額(億円)	2,004 ( 8.7)	2,105 ( 5.1)	792 ( 22.0)	687 ( 18.6)	336 (▲ 1.0)	467 ( 61.2)	94 ( 24.9)	78 ( 16.6)	113 ( 89.1)	277 ( 69.3)	572 ( 44.3)
津市消費者物価指数	( 2.4)	( 0.3)	( 3.1)	( 2.7)	( 2.5)	( 0.9)	( 1.6)	( 1.2)	( 0.8)	( 0.8)	( 0.6)
同 (除く生鮮)	( 2.2)	( 0.2)	( 3.2)	( 2.7)	( 2.5)	( 1.1)	( 1.8)	( 1.5)	( 0.9)	( 1.0)	( 0.5)

## <東海3県(三重・愛知・岐阜)>

	2024年	2025年	2025年			2026年	2025年	2026年			
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	12月	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額(全店)	( 2.7)	( 2.5)	( 1.6)	( 2.3)	( 3.9)	( 2.6)	( 1.8)	( 4.2)	( 4.3)	(▲ 0.6)	
同 (既存店)	( 3.2)	( 2.4)	( 1.7)	( 1.9)	( 3.3)	( 2.7)	( 1.4)	( 3.4)	( 3.3)	( 1.3)	
新設住宅着工戸数(戸)	72,757 (▲ 1.0)	66,986 (▲ 7.9)	17,294 (▲ 3.3)	17,478 (▲ 5.8)	17,294 ( 26.5)	15,978 (▲ 8.6)	5,561 ( 2.8)	5,013 ( 2.5)	5,455 ( 2.7)	5,510 ( 2.8)	
有効求人倍率(季調済)	1.31	1.43	1.26	1.28	1.27	1.24	1.26	1.25	1.24	1.22	
新規求人倍率(季調済)	2.35	2.33	2.25	2.30	2.25	2.22	2.18	2.19	2.23	2.26	
鉱工業生産指数	(▲ 2.8)	( 2.0)	( 1.1)	(▲ 0.4)	(▲ 0.8)	( 4.8)	(▲ 0.2)	( 1.6)	( 5.5)	( 7.1)	
	-	-	<▲ 4.1>	<▲ 2.0>	< 2.1>	< 9.1>	<▲ 0.5>	< 14.2>	<▲ 2.6>	<▲ 1.0>	
企業倒産件数(件)	868	916	224	251	224	251	97	102	87	62	65
(前年同期(月)比)(件)	( 69)	( 48)	( 1)	( 31)	( 15)	(▲ 12)	( 23)	( 32)	( 10)	(▲ 11)	(▲ 1)
域内外国貿易 純輸出(億円)	99,393	101,373	29,399	24,198	29,399	24,534	9,872	5,550	8,501	10,484	9,621
輸出(億円)	225,311 ( 6.0)	228,849 ( 1.6)	61,052 ( 1.2)	55,834 (▲ 1.4)	61,052 ( 10.3)	58,275 ( 4.4)	20,820 (▲ 2.4)	17,005 ( 6.2)	19,701 (▲ 2.7)	21,568 ( 6.0)	21,338 ( 7.8)
輸入(億円)	125,918 ( 1.8)	127,476 ( 1.2)	31,653 (▲ 1.5)	31,636 (▲ 5.0)	31,653 ( 2.5)	33,741 ( 6.7)	10,948 (▲ 2.8)	11,455 (▲ 5.6)	11,201 ( 8.0)	11,084 ( 2.7)	11,717 ( 8.8)

各指標における直近の数値